



【文学部 人文学科】おすすめ本・探し方NAVI



基 礎							
	タイトル	著者	出版社	出版年	ISBN	資料ID	コメント
1	図解 眠れなくなるほど面白い 世界の宗教	星川啓慈(監修)	日本文芸社	2020年	9784537218060	10+0369192	文字情報と図・写真・地図などの非言語情報を配し、分かりやすく「世界の宗教」が理解できる本。世界の大宗教を中心に、諸宗教の教義・経典・事件・歴史などを網羅。楽しみながら世界の宗教について知ることのできる、エンターテインメント教養書。
2	「戦争学」概論	黒野耐	講談社	2005年	406149807X	10+0169628	「戦争は人類が続く限り絶えないであろう」という予測がある。やや古いが、戦争の諸相を知るうえでの入門書。現代のアメリカが、どうしてインド洋・南シナ海・東シナ海を重視するののかも理解できる。
3	異文化コミュニケーション論：グローバル・マインドとローカル・アフェクト	ハ島智子・久保田真弓	松柏社	2012年	9784775401842	10+0371084	著者は第二言語習得の動機づけを専門としており、学習者の情意面の観点からも異文化接触に言及している点が面白い。
4	概説 社会言語学	岩田祐子・重光由加・村田泰美	ひつじ書房	2013年	9784894766372	10+0271205	社会言語学の射程は広いが、多くの基礎的内容を網羅していて、且つわかりやすい。興味関心を持った章だけでも読むことを薦めたい。
5	よくわかる宗教学	櫻井義秀・平藤喜久子編	ミネルヴァ書房	2015年	9784623072750	10+0297048	2頁の分量で宗教学に関するテーマを解説する入門書。宗教学の基礎的なガイダンスから「神話」「儀礼」「象徴」「回心」等の鍵概念、世界の諸宗教の概略、宗教をめぐる諸問題が概括されている。若手研究者が担当した項目には些かビントを外した記述も散見されるが、全体としてはまとまっていると思う。60人で執筆分担。
6	日本宗教事典	村上重良	講談社	1988年	4061588370	50+0108087 50+0108088	宗教学者・村上重良(1928-1991)の手による日本宗教の通史兼概説書。末木文美士等、後続研究者からの同テーマの概説書もあるが、まずは初学者にはこれを勧めたい。今日の研究水準から見ると問題点も見受けられるが、バランスがよく、信頼性が高い成果だと評価できる。
7	SDGS入門	村上芽・渡辺球子	日本経済新聞出版	2019年	9784532114084	10+0367873	昨年まではあまりマスコミで取り上げられることのなかったSDGS>、つまり「持続可能な開発目標」があります。17の目標と169のターゲットです。現在、約78億人語の人類は今後どのように幸福を実現していったらいいのでしょうか。これからの哲学・宗教文化を思考する基礎として、必読の書です。
8	渋沢栄一「論語と算盤」の思想入門	守屋淳	NHK出版	2020年	9784140886410	10+037067	2024年から新1万円札の肖像に用いられる渋沢栄一と言う人物はどのような人物であったのでしょうか。『論語』は聖人君子を目標とする思想書であり、難解なものです。これとく算盤(そろばん)>について述べているところに面白さがあります。理論だけでなく実践をともなった共生の思想・哲学の基本的発想をこの本によって知ることができます。
9	倫理学入門	品川哲彦	中公新書	2020年	9784121025982	10+0371109	前半では「善」と「正」、「義務」と「責任」の違いや、代表的な倫理理論が紹介され、後半では応用倫理学として、生命倫理や環境倫理、戦争やAIの倫理問題が紹介されている。現代倫理学を理解するための入門書として、おすすめの一作である。
10	哲学マップ	貴 茂人	ちくま新書	2004年	9784480061829	10+0371103	「哲学を学んでみよう」と思い立ったあなた！ 哲学の難解さに一瞬ひるんでしまう人も多いはず。そんな時、それぞれの哲学者を他の哲学者との関わりの中で眺めてみよう。どうしてもそんな考えをするのか、という哲学の勘所が見えてくるはず。思考の道具としての哲学の勘所を掴んでください。
11	英語で語る日本事情2020	江口裕之／ダニエル・ドゥーマス	ジャパンタイムズ	2017年	9784789016698	10+0371083	日本語だと説明できることが英語になると説明できなかった経験はありませんか。本書では、日本の文化を英語でわかりやすく説明しています。
12	コミュニケーション・スタディーズ入門	鈴木健編	大修館書店	2011年	9784469213348	10+0258109	コミュニケーションという概念を様々な視点から研究者が解説している一冊です。
13	よくわかるアメリカ文化史 (やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ)	異孝之ほか	ミネルヴァ書房	2020年	9784623088409	10+0371135	取り上げられている様々な事例から文化を勉強する視点が見えてくると思います。アメリカのみならず、ほかの地域にも応用が利くはず。
14	世界でいちばん面白い英米文学講義 ―巨匠たちの知られざる人生	エリオット・エンゲル	草思社	2006年	9784794215260	10+0373668	名前は聞いたことがあるけれども、どのような作家かわからない、というような方には、知識を体系づける基礎的な学習ができるはず。文学作品は文化資料としても多くのことを教えてくれます。
15	パラレル・ワールド	深沢正雪	潮出版社	1999年	9784267015410	10+0373727	ブラジルにて邦字新聞記者を務める筆者が、実際に「デカセギ」として「来日」して工場勤務した経験などを踏まえ、上梓したノンフィクション。「読みやすさ」と「内容の重さ」が両立した本。
16	動物化するポストモダン	東浩紀	講談社	2001年	9784061495753	10+0120408	星野自身も内容について?と考える箇所があるものの、21世紀のオタク系文化を語る上で、必読書となっていることは間違いない。
17	『定本 想像の共同体―ナショナリズムの起源と流行』	ベネディクト・アンダーソン、白石隆・白石さや訳	書籍工房早山	2007年	9784904701089	10+0236162	ナショナリズム、国家と言語、文化との関係性に興味のある人の必読文献
18	『創られた伝統』	エリック・ホブズボウム、テレンス・レンジャー編、前川啓治・梶原景昭訳	紀伊国屋書店	1992年	9784314005722	10+0003462	「伝統」とは創造されるものだ、という概念を具体例をもとに提示し、数々の学問分野に衝撃を与えた古典ともいえる基礎文献
19	『文化を書く』	ジェイムズ・クリフォード、ジョージ・マーカス編、春日直樹・和邇悦子他訳	紀伊国屋書店	1996年	9784314005869	10+0039577	この本をきっかけとして人文社会科学のあり方が大きく変わった。「文化」を記述するとはいかなることなのかを知る、文化研究をする人にとっての必読文献。
20	『キーコンセプト 文化―近代を読み解く―』	鏡味治也	世界思想社	2010年	9784790714934	10+0296865	「文化」とはなにか。実はかなり難しい問題だが、その問題に正面から取り組んだ書。「文化研究」という言葉で自分のしていることを正当化しないように読んでおくべき必読文献。
21	宗教学入門	脇本 平也	講談社学術文庫	1997年	9784061592940	10+0048755	戦後の日本宗教学の成果を手際よく概観している。やや古いが、宗教学というものがどういう学問か知るのに適した書。
22	神話学入門	松村 一男	講談社学術文庫	2019年	9784065145234	10+0353643	宗教学と神話学の関係、特に構造主義神話学とはどのようなものであり、いかに成立したかをつまびらかにした本。

応 用							
	タイトル	著者	出版社	出版年	ISBN	資料ID	コメント
1	増補・宗教者ウィトゲンシュタイン	星川啓慈	法蔵館文庫	2020年	9784831826121	10+0369193	50年は読み継がれるであろう異色のウィトゲンシュタイン論。多くの資料や研究書に言及しながら、ウィトゲンシュタインを「宗教者」として捉えることの妥当性／適切性を30年以上かけて論証した。旧版は30年前に出ているが、ツイッターで現代の著者にも人気。
2	戦争学原論	石津朋之	筑摩書房	2013年	9784480015686	10+0275444	日本の代表的戦争研究者の著書。第Ⅰ部「戦争の本質を考える」と第Ⅱ部「戦争と社会の関係性を考える」からなる二部構成。文献の紹介も充実。戦争について基本的な事柄を（やや本格的に）知ろうとする人にお勧め。
3	英語教育と文化：異文化間コミュニケーション能力の育成	塩澤正・吉川寛・石川有香（編）	大修館書店	2010年	9784469142334	10+0252060	言語教育と文化、相互行為としてのコミュニケーション論について考える際に必要な背景知識が十分に述べられ、参考文献の記載も充実している。
4	English as a Lingua Franca: Perspectives and Prospects	Marie-Luise Pitzl & Ruth Osink-Teasdale（編）	De Gruyter Mouton	2016年	9781501511226	10+0370956	国際共通語としての英語の諸相について、これほど多くの著名な研究者の論考が読める本は少ない。
5	近代日本宗教史(1)	島蘭道・末木文美士・大谷栄一・西村明編	春秋社	2020年(1巻)	9784393299616	10+0369950	近現代日本宗教の通史。幕末維新期から戦後の高度経済成長期までの期間を扱った論文群とコラムが収録されている。諸々のテーマに関する専門研究者が一般読書人に向けてまとめた内容なので、最新の研究成果を網羅しつつも、わかりやすく概括されている。玉石混雑だが、全体として水準が高い。
5	近代日本宗教史(2)	島蘭道・末木文美士・大谷栄一・西村明編	春秋社	2021年(2巻)	9784393299623	10+0371131	
5	近代日本宗教史(3)	島蘭道・末木文美士・大谷栄一・西村明編	春秋社	2020年(3巻)	9784393299630	10+0371132	
5	近代日本宗教史(4)	島蘭道・末木文美士・大谷栄一・西村明編	春秋社	2021年(4巻)	9784393299647	10+0371133	
5	近代日本宗教史(5)	島蘭道・末木文美士・大谷栄一・西村明編	春秋社	2021年（5巻）	9784393299654	10+0371134	
6	近現代日本の宗教変動――実証的宗教社会学の視点から――	寺田喜朗・川又俊則・塚田機高・小島伸之編	ハーベスト社	2016年	9784863990782	10+0327162	宗教社会学の視点から近現代日本の宗教の変化を論じた論文集。宗教運動（教団）を扱った第Ⅰ部、地域社会を扱った第Ⅱ部、国家と宗教を扱った第Ⅲ部で構成されている。9本の論文に加え、「世俗化論・合理的選択理論」「戦没者慰霊」「国家神道」に関するコラムも収録されている。
7	朱子学と陽明学	小島毅	筑摩書房	2013年	9784480095695	10+0268970	「性即理」「心即心」と言っても何のことだか、さっぱりわからないことだと思います。人間の本質的な部分である喜怒哀楽の感情や欲望を「是」とするのか「非」とするのか、どのように考えるのがいいのかを本書はわかりやすく解説をして考えさせてくれます。…「人欲」も「天理」か？
8	般若心経：テキスト・思想・文化	渡辺章悟	大法輪閣	2009年	9784804612812	10+0224047	仏教で一番有名なお経は『般若心経』です。仏教のほとんどの宗派では『般若心経』のお経をあげます。因みに、浄土宗では修行中、食作法で三度の食事の前に必ず『般若心経』を誦します。「色即是空・空即是色」、意味がわかりますか？基本的なところから高度な研究に渡ってわかりやすく述べてあるのが本書です。
9	現象学	木田 元	岩波新書	1970年	400412011X	10+0113591□	現象学は哲学だけでなく、広く人文・社会科学をも影響下に収めた大きな思想潮流である。フッサール、ハイデガー、サルトル、メルロ＝ポンティと受け継がれたその思想運動は、現代を生きる我々にも生きる力を与え続けているのである。
10	いま世界の哲学者が考えていること	岡本裕一郎	ダイヤモンド社	2016年	9784478067024	10+0323158	現代の哲学者が、人工知能、遺伝子工学、格差社会、テロの脅威、フィンテック、宗教対立、環境破壊等の現代問題に対して、どのように考えどのような答えを出しているのか。本書は、現代の哲学的思考を理解するうえで必要な視点を与えてくれる。
11	日本の英語教育の今、そして、これから	長谷川信子編	開拓社	2015年	9784758922128	10+0371126	小学校3年生から英語が必修化となり、今後の日本の英語教育のあり方を考える上で、とても参考になる一冊です。
12	異文化コミュニケーション論 グローバル・マインドとローカル・アフェクト	ハ島智子／久保田真弓	松柏社	2015年	9784775401842	10+0371084	コミュニケーションには、言語によるコミュニケーションや非言語コミュニケーションなど様々な種類があります。様々な視点から異文化コミュニケーションについて解説しています。
13	Culture and Imperialism ※サイド『文化と帝国』翻訳もあります。	Edward W. Said	Vintage.	1994年	679750541	10+0371343	文化的な出来事や現象の背景にあるものに気づきます。別々のことだと思っていた知識がつながる楽しさを味わってください。イギリス文化からの事例が多く取り上げられていますが、実際にそれについて知らなくても、詳しい説明とともに論じられているので、読み進めることができ、新たな発見がたくさんあると思います。
14	Feminism is for Everybody	bell hooks	Pluto Press	2000年	9780745317335	10+03709957	平易な英語で書かれて、現代の視点から、フェミニズムがどのように社会を動かす力になってきたのか書かれています。自由で平等な価値観を作っていくのは本当に大変ですが、きっとヒントになることばや考えをみつけることができるでしょう。
15	旧植民地における日系新宗教の受容 ―台湾生長の家のモノグラフ―	寺田喜朗	ハーベスト社	2008年	9784863390041	10+0256174	敬愛する寺田先生の博士論文が書籍化されたもの。豊富な事例により記述されたターゲットが、精緻かつ確かな理論によって丁寧に分析される。フルスイングとはこのこと。

16	顔の見えない定住化 ―日系ブラジル人と国家・市場・移民ネットワーク―	梶田孝道・丹野 清人・樋口直人	名古屋大学出版会	2005年	9784815805029	10+0221418	『パラレル・ワールド』にて在日ブラジル人に興味を覚えたらぜひ読んでもらいたい、在日ブラジル人研究のメルクマール。出版から少々時間が過ぎた本だが、いまだに本書をどのように消化し、乗り越えるかが在日ブラジル人研究の課題となっている。
17	『サウンドのカーブ着者・余暇・ロックの政治学』	サイモン・フリス、細川周平・竹田賢一訳	晶文社	1991年	9784794960269	10+0373771	カルチュラル・スタディーズの古典で、ポピュラー音楽研究を志す人が読んでおくべき必読文献。
18	『小さな人々の大きな音楽 一小国の音楽文化と音楽産業 』	ロジャー・ウォリス、クリステル・マルム、岩沢拓也・保坂幸正他訳	現代企画室	1996年	9784773895124	10+0371128	ポピュラー音楽研究を志す人の必読文献。
19	『ミュージックスとの付き合い方 民族音楽学の拡がり』	徳丸吉彦	左右社	2016年	9784865281439	10+0351166	民族音楽学あるいは音楽人類学の基本文献。学術的視野の変遷と方法論を知るための教科書。
20	『新・舞台芸術論 21世紀風姿花伝』	小池博史	水声社	2017年	9784801003149	10+0347865	舞台芸術を研究したい人に総合芸術としての舞台芸術の視点を教えてくれる。タイトルの副題にも注目せよ。
21	『パフォーマンス研究のキーワード 批判的カルチュラル・スタディーズ入門』	高橋雄一・鈴木健編	世界思想社	2011年	9784790715085	10+0351131	1970年代以降にアメリカにおこったパフォーマンス研究の入門本。カルチュラル・スタディーズの実践を別側面から見つめるものとしてぜひ参照したい。
22	鎌倉新仏教の誕生―動遷・穢れ・破戒の中世	松尾 剛次	講談社	1995年	9784061492738	10+0036483	鎌倉新仏教というものを、中世史の宗教状況の中から問い直した松尾剛次先生の著作の中で、最もわかりやすい本。
23	儀礼学概論	キャサリン ヘル 木村敬明・早川 敦（翻訳）	仏教出版	2017年	9784990833183	10+0342946	構造主義的宗教学の体系を概観し、教義と儀礼の意味づけをとらえ直した本。

学科からのメッセージ

アメリカの黒人指導者マルコムXは、「一冊の本に人生を丸ごと変えてしまう力があることを、みんな理解していない」という言葉を残しています。マルコムXは、幼い時に父親を亡くし（白人至上主義者から殺される）、生活保護を受けて育ちました。麻薬取引、賭博、酒の密売、窃盗に手を染め、逮捕、収監されます。そこで哲学・思想・歴史の本を読み、目覚めます。彼の「自滅」の人生を転換し、肌の色によって差別されない「正義」を求めるリーダーへと変貌させたのは本の力でした。みなさんも学生時代に自分の人生を変えるような本と出会えるといいですね。

【探し方NAVI】 テーマ【 人文学科 新しい文化研究の方法としてのカルチュラルスタディーズ】

課題やレポート等で文化研究に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょう。文化を学術的に学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探るとき、こんなキーワードで探してみよう！
カルチュラル・スタディーズ、現代文化、文化史、批評理論、記号論、表象論、言語哲学、文化人類学、ポピュラーカルチャー、サブカルチャー など

図書館にある資料の一例

【参考図書】 ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！ 和参考書にある資料は貸出できませんので注意してください。

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
世界シンボル大辞典 大修館書店，1996.12	8 号館 3F	160.33/CJ-5	11+0003922	文化は、文学、宗教、神話、芸術、民間伝承、占星術、錬金術などの諸分野にわたる象徴性を学ぶことができる。
日本文化人類学会編『文化人類学事典』、丸善、2009.1	8 号館 3F	389.033/BZ-Z	10+0227724	文化人類学の基本を調べるのに便利。
テリー、イーグルトン『文化とは何か』松柏社、2006.8	8 号館 3F	361.5/ET-B	10+0188010	文化という言葉の意味を考える一冊。ここからはじめてさまざまな立場の本を読んでみてください。

図書館にある資料の一例

【入門書】 ☆基礎を学んでみよう。

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
上野俊哉・毛利嘉孝『カルチュラル・スタディーズ入門』、ちくま新書、2000.9	8 号館 3F	361.5/UT-K	10+0161684	カルチュラル・スタディーズの入門書として平易に理論と具体的分析が書かれている。
ターナー、グレアム『カルチュラル・スタディーズ入門-理論と英国での発展-』、作品社、1999.5	8 号館 3F	361.5/TG-K	10+0217262	イギリスの事例がほとんどであるが、平易に書かれているので研究の実践例として参考になる。
半藤一利監修『知識ゼロからの太平洋戦争入門』幻冬舎、2009.4	8 号館 4F	210.75/TZ-T	10+0331879	最近、「戦争」が話題にのぼることが多いが、日本人として、太平洋戦争について少しは知っておくべきである。イラストや図表が豊富で、文字通り「知識ゼロからの太平洋戦争入門」である。

【専門的な図書】 ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
鈴木孝夫『閉ざされた言語・日本語の世界』新潮選書、1975.3	8 号館 3F	810.4/ST-T/*	10+0333682	かなり古い本で、論述がやや古い部分もあるが、われわれの母語である日本語はどういう言語かを知るために、また、異文化を理解するとはどういうことかを知るために、面白く書かれていて、参考になる。
エドワード・サイード『文化と帝国主義』1，2（みすず）、1998.12、2001.7	13号館B1A	361.6/SE-B/1 361.6/SE-B/2	10+0128801 10+0128802	文学をドキュメントとし、文化と政治の関係を論じている。基本の専門書の一冊。

【学術雑誌】 ☆専門的な研究や最新動向を知るなら、雑誌を見てみよう！巻号数がたくさんある場合は、読みたい論文・記事を特定してください。

誌 名 ・ 発 行 元	所在場所	請求記号	所蔵巻・所蔵年	ポイント
カルチュラル・スタディーズ学会会誌『年報カルチュラル・スタディーズ』	13号館B1B	053.6/N24	1-6+<2013-2018>	カルチュラル・スタディーズのさまざまな最新の取り組みを知ることができる。
表象文化論学会会誌『表象』	13号館B1B	051.1/H2	2-3,6-7,9-18+ <2008-2024>	幅広く表象、表現、イメージについての論文が掲載されている。学問的に評価された論文とはどのようなものかを知ることができる。

【探し方NAVI】 テーマ【 人文学科 哲学を学ぶ 】

課題やレポート等で『哲学を学ぶ』に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょう。『哲学を学ぶ』を学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探るとき、こんなキーワードで探してみよう！
哲学、思想 など

【参考図書】 ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！ 和参考書にある資料は貸出できませんので注意してください。

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
『岩波 哲学・思想事典』、岩波書店、1998.3	8 号館 3F	103.3/IT-S	10+0065593	総項目数約 4100、執筆陣は第一線で活躍中の専門家です。最新の研究成果を踏まえて、重要テーマを文化横断的に考察し、内容紹介だけでなく背景知識を含めて解説しています。哲学・思想を学ぶ上で必須の基本事典です。

図書館にある資料の一例

【入門書】 ☆基礎を学んでみよう。

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
『はじめての哲学』石井郁男、あすなろ書房、2016.2	8 号館 4F	130.0/II-H	10+0331876	14 人の哲学者の人生をたどりながら、その思想を学ぶ哲学の入門書です。〈世界観〉、〈認識論〉、〈方法論〉といった哲学の大切なテーマを汲み取るのに適した入門書です。
『哲学入門』パートランド・ラッセル（高村夏輝訳）、筑摩書房（ちくま学芸文庫）、2005.3	8 号館 4F	133.54/RB-T	10+0163434	本書は、「理性的な人なら誰にも疑えない、それほど確実な知識などあるのだろうか」という書き出しで始まります。1912 年に執筆されて以来、現在まで 23 万語語に翻訳され、今日も読みつがれている哲学入門書です。日本語には複数回翻訳され、本書は新訳です。文字通り世界でもっとも読まれてきた哲学入門書の最高傑作、是非読んで下さい。

【専門的な図書】 ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
『哲学入門』戸田山和久、筑摩書房（ちくま新書）、2014.3	8 号館 4F	100.0/TK-T	10+0331877	タイトルは哲学入門となっていますが、内容を見るとかなり専門的です。著者は「これぞ本道だと思っている哲学、つまり科学の成果を正面から受け止め、科学的世界のただなかで人間とは何かを考える哲学」に読者を誘いたいようです。現代科学をベースにした、現在進行形の哲学をわかりやすく（といっても、内容は少し難しいですが）学びたい人にお勧めです。
『哲学の歴史』全 12 巻+別巻、中央公論新社、2008.2～	8 号館 4F	13.2/TR-E/ 1～13	10+0212315 他	日本哲学界の総力をあげて編纂された、西洋哲学の全体像を描き出すシリーズです。現時点では最も網羅的な、各哲学者に焦点を当てた哲学史シリーズであると思います。
『はじめての分析哲学』大庭健、産業図書、1990.8	8 号館 4F	116.3/OT-H	10+0331878	本書は、分析哲学の入門書となっていますが、いわゆる早わかりふうに項目を網羅した入門書ではありません。〈分析哲学〉入門でありながら、その大半は、論理実証主義 vs プラグマティズムという論題にさかれています。現代の分析哲学は、もう一度めくると金思想状況がひっくりかえるかもしれないような、重大な問題と格闘しています。

【探し方NAVI】 テーマ【 人文学科 文化・コミュニケーション・言語を国際的な視点で探究する】

課題やレポート等で【文化・コミュニケーション・言語】に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょうが。
【文化・コミュニケーション・言語】を学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探るとき、こんなキーワードで探してみよう！
【文化】カルチュラル・スタディーズ、現代文化、文化史、ポピュラーカルチャー、サブカルチャー、コンテンツ・ツーリズム、ファンタジー、世界文学
【理論・学問領域】批評理論、記号論、意味論、表象論、語用論、国際関係論、異文化交流論、観光論、アダプテーション論、言語学、文化人類学
【英語コミュニケーション】異文化間コミュニケーション、異文化理解

図書館にある資料の一例

【参考図書】 ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！ 和参考書にある資料は貸出できませんので注意してください。

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
『異文化コミュニケーション事典』石井敏他編，春風社， 2013.1	8 号館 3F	361.45/IK-Z	10+0351191	文化とコミュニケーションに関し、727 項目を網羅した辞書であり、同時に解説書としての機能も有している。必ず役にたつ。
『語用論キータム事典』開拓社，2014.5	8 号館 2F	0	98+0006580	コミュニケーションの視点から言語使用を考える分野である語用論のキータム事典。精選された概念の分かりやすい解説。
『しぐさの英語表現辞典』小林祐子，研究社，2008.11	8 号館 3F	833.0/KY-S	00+0001080	英米人のボディランゲージを比較文化的視点から具体的に解説。例文やイラストもあり、身ぶりや表情描写の理解に役立つ。
『世界シンボル大事典』大修館書店，1996.12	8 号館 3F	160.33/CJ-S	11+0003922	文化は、文学、宗教、神話、芸術、民間伝承、占星術、錬金術などの諸分野にわたる象徴性を学ぶことができる。
『文化人類学事典』日本文化人類学会編，丸善， 2009.1	8 号館 3F	389.033/8Z-Z	10+0227724	文化人類学の基本を調べるのに便利。
『文化とは何か』テリー、イーグルトン，松柏社，2006.8	8 号館 3F	361.5/ET-B	10+0188010	文化という言葉の意味を考える一冊。ここからはじめてさまざまな立場の本を読んでみてください。
『応用言語学事典』小池生夫編集主幹， 研究社，2003.4	8 号館 3F	803.0/OG-Z	10+0142153	「言語とそれに関する諸科学」である応用言語学全般が展覧できる
『英語学・言語学用語辞典』中野弘三他監修，開拓社，2015.11	8 号館 2F	0	98+0005465	英語学・言語学研究を 11 の分野にし簡潔に用語解説がされている。
高梨芳郎『データで読む英語教育の常識』研究社，2009.8	8 号館 3F	375.893/TY-0	10+0319326	英語教育の実証研究によって明らかにされてきた「事実」を客観的な数値をとおして解説した英語教育データブック

図書館にある資料の一例

【入門書】 ☆基礎を学んでみよう。

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション 誤解・失敗・すれ違い』久米昭元・長谷川典子，有斐閣， 2007.9	8 号館 3F	361.45/KT-K	10+0351021	異文化コミュニケーション研究への実践的入門書。様々な誤解、すれ違いの事例の原因を分析し、解釈し、よりよい異文化コミュニケーションへの道に導いてくれる。
『伝わるしくみと異文化間コミュニケーション』井上遼兵，南雲堂，1999, 5	13号館 B1A	361.5/II-T	10+0134389	ことばやコミュニケーションが何故伝わるのか、伝わらないのか、異文化間も含め、伝達のしくみを教えてくれる。
『コミュニケーション学への招待』橋元良明編著，大修館書店， 1997.12	埼玉分館 和場閉図 2	361.5/HY-K	10+0065207	言語と非言語に関わる身近な諸現象を、コミュニケーション学の知見から分析するヒントを与えてくれる。
『ことばの生態系—コミュニケーションは何でできているか—』井上遼兵，慶應義塾大学出版会，2005.4	13号館 B1A	801.03/II-K	10+0351022	流行ことばや呼称の使い方等の事例を挙げて、現代におけるコミュニケーションを社会言語学的観点から論じている。
『カルチュラル・スタディーズ入門』上野俊哉・毛利嘉孝，ちくま新書，2000.9	8 号館 3F	361.5/UT-K	10+0161684	カルチュラル・スタディーズの入門書として、平易に理論と具体的分析が書かれている。
『カルチュラル・スタディーズ入門-理論と英国での発展-』ターナー・グレアム，作品社， 1999.5	8 号館 3F	361.5/TG-K	10+0217262	イギリスの事例がほとんどであるが、平易に書かれているので、研究の実践例として参考になる。
『知識ゼロからの太平洋戦争入門』半藤一利監修，幻冬舎，2009.4	8 号館 4F	210.75/TZ-T	10+0331879	最近、「戦争」が話題にのぼることが多いが、日本人として太平洋戦争について少しは知っておくべきである。イラストや図表が豊富で、文字通り「知識ゼロからの太平洋戦争入門」である。
『英語学習のメカニズム』廣森友人，大修館書店，2015.12	8 号館 3F	830.7/HT-E	10+0319324	第二言語習得理論の基礎・基本に基づき、学習者の個性・適性に合った英語学習法までわかる。
『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』村野井仁，大修館書店， 2006.4	8 号館 3F	830.7/MH-D	10+0319327	教室における指導が第二言語習得に与える影響を解明する「教室第二言語習得研究」の成果をもとに、インプット・アウトプット中心の英語学習法等の重要性を提示する。
『外国語学習の科学：第二言語習得論とは何か』白井恭弘，岩波書店，2008.9	13号館 B1A	807.0/SY-G	10+0216730	外国語を身につけるという現象を言語学、心理学、認知科学などの成果をもとに解明し、そこから効率的な外国語学習の方法を導き出す第二言語習得研究の成果を紹介してくれる。
『感じのよい英語 感じのよい日本語—日英比較コミュニケーションの文法』水谷信子，くろしお出版， 2015.3	8 号館 3F	837.8/MN-K	10+0313532	英語と日本語という言語的距離の離れた2つのことばを比較し、相手とのよい関係を築く表現を教えてくれる。
『探検！ことばの世界』大津由紀雄，ひつじ書房，2004.12	8 号館 3F	810.4/OY-T	10+0313533	どの言語にもある普遍性とそれぞれの言語がもつ多様性を日本語と英語を軸に多くの例とともに明快に解説してくれる。

【専門的な図書】 ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書 名 ・ 著 者 ・ 出 版 社 など	所在場所	請求記号	資料 ID	ポイント
『コミュニケーション学』末田清子・福田浩子，松柏社， 2A142+A141: D146	13号館 B1A	361.45/SK-K	10+0148057	専門的なコミュニケーション学の学術的な論点を深く理解するのによい。身近な例が理解を助けてくれる。言語・非言語両分野を扱っている。
『異文化理解とコミュニケーション1』本名信行【他】編著，三修社， 1994.6	埼玉分館 和場閉図 2	361.5/HN-1/I	10+0027361	言語と文化、コミュニケーションを軸として、言葉の含意やジェンダー、通訳翻訳等における分析の視点が広く示されている
『聞ざされた言語・日本語の世界』鈴木孝夫，新潮選書， 1975.3	8 号館 3F	810.4/ST-T/*	10+0333682	かなり古い本で、論述がやや古い部分もあるが、われわれの母語である日本語はどういう言語かを知るために、また、異文化を理解するとはどういうことかを知るために、面白く書かれていて、参考になる。
『文化と帝国主義（1・2）』エドワード・サイード，みすず書房，①1998.12，②2001.7	13号館 B1A	①361.6/SE-B/1 ②361.6/SE-B/2	10+0128801 10+0128802	文学をドキュメントとし、文化と政治の関係を論じている。基本の専門書の一冊。
『第二言語習得：SLA 研究と外国語教育』佐野富士子他（編），大学英語教育学会監修，大修館書店，2011.7	8 号館 3F	830.7/EK-T/5	10+0252062	英語の習得には年齢などの学習者要因がどのように関係するのか。また、どのような過程で上達していくのかを様々な観点から解説されている。
『言語学習と学習ストラテジー：自律学習に向けた応用言語学からのアプローチ』尾関直子他編・大学英語教育学会学習ストラテジー研究会編著，リーベル出版， 2005.6	8 号館 3F	807.0/GG-G	10+0178594	自律的学習能力と実践的コミュニケーション能力の同時育成が 可能となる学習ストラテジーの理論と実践について論じた書。
『ことばの力学：応用言語学への招待』白井恭弘，岩波書店，	8 号館 3F	801.0/SY-K	10+0265037	言語に関する幅広いトピックを網羅。新書版なので、読み易い。
『翻訳の原理 異文化をどう訳すか』平子義雄，大修館書店， 1999.3	13号館 B1A	801.7/HY-H	10+0079354	単なる翻訳テクニックの解説所でなく、異文化コミュニケーションとして合理的、原理的に解明している。翻訳の理論を深く知るために、重要な翻訳論や言語論の紹介が付してある。
『「視点」の違いから見る日英語の表現と文化の比較』尾野治彦，開拓社， 2018.6	8 号館 3F	810.1/OH-S	10+0351024	「絵本」や「映画ポスター」等に見られる日英語の事象把握の相違から文化を比較する方法が紹介されている。
『日英語と文化の記号論』有馬道子，開拓社， 2015. 6	13号館 B1A	801.09/AM-N	10+0351023	日米語の表現・文化の違いを記号論の視点から論じている。

【学術雑誌】 ☆専門的な研究や最新動向を知るなら、雑誌を見てみよう！巻号数がたくさんある場合は、読みたい論文・記事を特定してください。

誌 名 ・ 発 行 元	所在場所	請求記号	所蔵巻・所蔵年	ポイント
カルチュラル・スタディーズ学会会誌『年報カルチュラル・スタディーズ』	13号館 B1B	053.6/N24	1-6+<2013-2018>	カルチュラル・スタディーズのさまざまな最新の取り組みを知ることができる。
表象文化論学会会誌『表象』	13号館 B1B	051.1/H2	2-3,6-7,9-18+ 2008-2024	幅広く表象、表現、イメージについての論文が掲載されている。学問的に評価された論文とはどのようなものかを知ることができる。

【データベース・関連 Web ページ】 ☆専門的な情報を探すときに便利です。データベースで探した本や論文が図書館にあるか、あらためて OPAC（蔵書検索）や CiNii で調べましょう！

データベース・Web ページ名	U R L	ポイント
Second Language（日本第二言語習得学会(J-STAGE にて公開)）	https://www.i-sla.org/	日本における第二言語習得研究の成果をみることができる。実証的データに基づいて理論的に第二言語の発達を研究し、第二言語の習得過程を明らかにする。
『社会言語科学』（社会言語科学会）	CiNii Research にて一部公開 https://ci.nii.ac.jp/	英語に限らず言語・コミュニケーションを人間・文化・社会との関わりにおいて取り上げている。
『異文化コミュニケーション』（異文化コミュニケーション学会）	https://www.sietar-japan.org/	国際間および異文化間における円滑なコミュニケーションと協力関係をはぐくむことを目的とした論集。